






この予定表は一般的・標準的な治療の経過を一覧表にしたものです。患者様の状態により多少変わることがあります。

年 月 日

項目	時間枠 入院日～手術前日まで	手術日 月 日	
		手術前	手術後
患者目標	手術に向けて、体の準備、心の準備ができる。 手術後必要な物品の準備ができる (T字帯2~3枚、バスタオル1枚、腹帯2~3枚、長方形紙オムツ2~3枚、ストロー又は薬のみ)。 手術後の経過が理解でき、不明点があれば医療者に質問し、解決できる。 家族は手術当日の来院時間、場所が分かる。	手術に向けて、体の準備、心の準備ができる。 手術前準備 (注射、内服、更衣など) が看護師と一緒にできる。 食べたり飲んだりしないことが守れる。	手術後必要な処置を受け入れることができる。 管の違和感、痛み、吐き気や頭痛などの症状が出現した時、医療者に伝えることができる。 手術後の禁止事項 (指示があるまで歩行や飲水ができないこと、尿の管やドレーンは医師の指示があるまで抜去できないことなど) が守れる。
治療処置	手術前日の夕食後か寝る前に、下剤の薬を飲みます。	手術室は3階です。 手術は、 番目です。一番目の方は、8時頃に手術室へ行きます。 二番目以降の方は、連絡が来てから手術室へ行きます。 朝、洗腸を行います。 	医師の指示で、酸素マスクをつけます。 痛みがあるときは痛み止めを使いますので、お知らせください。
検査	手術の為に必要な検査を受けます。 検査の時は、随時お知らせします。	手術の為に必要な検査を受けます。 検査の時は、随時お知らせします。	手術の為に必要な検査を受けます。 検査の時は、随時お知らせします。
患者様及びご家族への説明	主治医、病棟看護師が入院後の予定や手術の追加説明について説明します。 手術を担当する麻酔科医、手術室看護師から、手術中の事について病室で説明します。 	ご家族は、手術開始30分前には、直接病棟へおこしてください。 手術中ご家族は、7階のディールームまたはお部屋でお待ちいただきます。 手術終了までは、どなたか必ず7階のディールームまたはお部屋に待機していただくよう、お願い致します。 当日、付き添いを希望される場合は、看護師または事務員にお知らせ下さい。	ご不明などありましたら、遠慮なくお尋ねください。 
検温	検温 (熱、脈拍、血圧測定) をします。 	朝、洗腸前に検温をします。 	手術後は適宜、検温をします。 
安静度 (活動)	特に制限はありません。		手術当日は、ベッド上で安静に過ごします。 用件時は、ナースコールを押してください 
排泄	特に制限はありません。 便秘症の方はお知らせください。	朝、洗腸を行います。	尿の管は入れたままです。 
食事	食事はお部屋にご用意します。 夕食以降の飲食は、医師の指示に従ってください。 	朝から飲んだり、食べたりできません。 	手術後は、水分摂取ができません。 うがいはできますので、ナースコールで知らせてください。
清潔	入浴またはシャワーに入り、髪を洗いましょう。 爪が伸びている場合は、切りましょう。 マニキュアなどしている場合は、落としましょう。 入院後、女性は化粧を落としましょう。 (顔色などを見るため) 	手術前は制限はありません。(洗顔、歯磨き可) 	手術後は、入浴・洗髪はできません。 歯磨きはできます。(看護師がベッドにご用意します) 
薬剤	入院の際、内服確認のため普段飲んでいる薬 (医師から処方された薬) を、一度預かります。 続けて薬を飲む場合は、説明します。 	手術前の薬は、医師の指示がなければ内服しません。 手術前に腕から点滴をします (朝一番の手術の場合、手術室で点滴をします。)	点滴はそのまま続けます。
手続きその他	診断書などの書類に申請がある場合は、外来支払い窓口で書類と一緒に提出しましょう。 (書類にはお名前、生年月日を事前にお書きください) 	時計、コンタクト、指輪、入れ歯、などつけているものをすべて取り外して手術衣に着替えます。 肺塞栓予防のストッキングをはきます。 (手術衣、肺塞栓予防のストッキングは病院で用意します) 	下腹部痛、吐き気、頭痛がありましたら、お知らせください。 手術当日は、肺塞栓予防のストッキングは着用したままです 肺塞栓をさらに予防するために、足のマッサージ機を歩行開始まで使用します。

この予定表は一般的・標準的な治療の経過を一覧表にしたものです。患者様の状態により多少変わることがあります。

年 月 日

時間枠 項目	手術後 1 日目～2 日目	手術後 3 日目～退院まで	退院後から再診日までの注意事項
患者目標	手術後必要な処置を受け入れることができる。 創痛、頭痛などの症状が出現した時、医療者に伝えることができる。	尿の管を抜去後の尿の観察ができる。 疼痛、頭痛など自覚症状出現時、医療者に伝えることができる。 点滴抜去後飲水が 1000～1500ml/日以上摂取でき、食事が半分以上摂取できる。 退院後の日常生活注意事項、外来受診の必要性が理解でき、実施できる。	残された腎臓の機能を保つために日常生活の注意点を守りましょう 1. 腎機能を維持するための自己管理について 腎臓の負担を軽減するために塩分を控えましょう。 食事制限はありませんが塩分の取りすぎは腎臓に負担をかけます。 塩辛い物の食べ物すぎには注意しましょう。
治療処置	診察を行います。 傷の消毒を行います。 痛みがあるときは痛み止めを使います。	傷の消毒を行います。 手術後 7 日目に、傷を半分抜糸します。 傷が問題なければ、8 日目に全抜糸します。	2. 水分摂取について 水分は 1 日 1500ml を目安に取りましょう。 尿量と色調に注意しましょう。 尿量が少ない場合や血尿が濃くなる場合は、連絡して下さい。
検査	検査があれば、随時お知らせします。	検査があれば、随時お知らせします。	3. 運動について 体幹をねじる運動は避けましょう。 運動は医師に相談してから行いましょう。
患者様及びご家族への説明	診察時に手術の結果をお話しします。	退院後の注意事項についてご説明します。 (主治医、病棟看護師)	4. 外傷に注意することについて 腎臓摘出後は片腎であることから外傷や打撲に注意して下さい
検温	適宜検温をします。 	適宜検温をします。	5. 定期受診について 退院後は定期的に外来を受診しましょう。再診日にはかならず受診して下さい。再診日は必ず受診して下さい。 自分の身体の状態を知り安心して生活が送れるようにしましょう。 帰宅後、初回再診日の変更を希望される場合は、総合予約室までご連絡ください。
安静度(活動)	医師の指示で歩行ができるようになります。 手術後最初に歩行する方は、看護師と一緒に歩きます。 その後ふらつき、気分不快などなければ、一人で歩けます。 尿の管やドレーンが入っているときは、歩行時に引っ張らないよう気をつけてください。	制限はありません。	6. 内服薬について 処方された薬は、退院後なくなるまで飲み忘れないようにしましょう。
排泄	尿の管が入っています。 便がしたいときは、看護師が付き添ってトイレへ行きます。 	医師の指示で、尿の管を抜きます。 尿の管を抜いた後、尿の観察をするために、尿コップにとってください。4 時間経っても尿が出ない場合や血尿がある場合は看護師にお知らせください。	不明なこと心配ことがありましたらいつでもご質問ください。
食事	医師の指示で飲水が始まります。その後、食事が始まります。 食事はお部屋にご用意します。	食事はお部屋にご用意します。	
清潔	体を蒸しタオルで拭きます。(タオルは看護師がお持ちします)。 歯磨き、洗髪、ひげ剃りはできます。 	体を蒸しタオルで拭きます。(タオルは看護師がお持ちします) 医師から許可が出たら、傷にカバーをして、シャワーに入れます。 お湯にはつかれません。 	
薬剤	食事が開始になったら、薬も再開します。 ただし、続けて中止する場合は、再度お知らせします。 点滴はそのまま行いますが、食事が摂取でき、発熱がなければ、点滴を抜きます。点滴が抜けるときは、お知らせします。	処方された内服薬は、医師の指示通り内服して下さい。	退院後初回再診日まで、ご不明、ご不安なことがありましたら、下記連絡先に、お電話をください。
手続きその他	肺塞栓予防のストッキングを脱ぐときはお知らせします。	入院費は退院日に精算となります。前もって金額が知りたい方は、看護師または事務員にお知らせ下さい。	 宮崎大学医学部附属病院 泌尿器科外来 0985-85-9317 泌尿器科病棟 0985-85-1898 総合予約室 0985-85-1225 ※時間外 (17:00～翌朝 9:00) は病棟に電話をおかけください